

三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略中間案への委員の意見

資料 2

番号	該当箇所		委員	意見等	対応
1	P8	現状 3 「都市圏在住の三重県出身者の声」	榊原委員	・『理想の働き場所』→「『理想の働き方、働き場所』が県内では見つからない」とした方がよいのではないか。	・ P 8 を修正。
2	P11～14	課題 1 「女性のキャリア継続の壁等キャリア形成の男女差」	榊原委員	・「女性のキャリア継続の壁」とは具体的にどういう障壁のことを指すのか、もっと深掘りしてほしい。なぜ依然としてそうなのか、壁を越えられないのは何が原因なのかという深掘がないため、中途半端な分析という印象。	・ P12に追記。
3	P15～18	課題 2 「雇用形態の男女差」	小安委員	・「選択的非正規」は、将来の経済的自立や社会保障負担との関係で課題も多い。「希望する働き方の実現」と「将来のセーフティネット」の両面から議論を深める必要がある。	・ P17に年収の壁と生涯可処分所得の関係について追記、データの掲載。
4	P19～21	課題 3 「労働と家事の男女差」	小安委員	・家事・育児時間の男女差は全国最下位レベルであり、危機感をもっと強調して良い。男性の行動変容を促す仕組み（育休取得インセンティブや企業評価制度への反映など）を政策に組み込むべき。	・ P19の本文中に危機感を強調する文章を追記。
5	P19	課題 3 「労働と家事の男女差」	榊原委員	・「三重県の多くの家庭では、…家事・育児にかかる夫婦間の時間差が大きい」という課題は上記と表裏の関係。ここにジェンダーギャップ解消のカギがあると考えられ、なぜ本県で男女差が大きいのかという問題も本質に迫ってほしい。背後にある構造的な要因を明確にすべき。問題構造を明確にするうえでは、合わせて、この問題の解消に取り組む意義やメリットを効果的に説明する必要がある。	・ P19、21に追記。

6	P23	三重の強み	小安 委員	・ 社長が日本一若いのはなぜか？男女差も見たい。	・ 「三重県事業承継ネットワーク」等事業承継に関する支援体制が充実していることが考えられる。
7	P24	めざす姿	小安 委員	・ 「チャレンジできる」「成長できる」といったキーワードも入るとよい。	・ P24 本文中に「チャレンジ」「成長できる」の記述を追記。
8	P26	戦略1「アンコンシャスバイアスの解消」	小安 委員	・ 「女性らしい職業に就くことは男らしくない」の「女性らしい職業」の表現は変えた方がよい？	・ 該当箇所を削除し、表現を修正。
9	P26～28	戦略1「アンコンシャスバイアスの解消」	小安 委員	・ 講演やワークショップでの「気づき」提供が中心。実際には、意識変容だけでは限界があり、制度・評価基準・労働時間の構造的な改革が同時に必要。	・ P26 リード文、P27～28「取組方向」を仕組みづくり等を含む記述に修正。
10	—	全体	小安 委員	・ 戦略全体はバランスが取れているが、「実効性を高めるための数値目標・進捗指標」が不足している。若者・女性に選ばれる地域となるには、測定可能なKPIを設定し、5年後・10年後の姿を定量的に示すことが必要。	・ P31に推進体制、進行管理について記述を追加。KPIについては参考資料1「三重県男女共同参画基本計画実施計画目標値」参照。
11	—	全体	小安 委員	・ ジェンダー視点で教育や性暴力といったテーマが抜けているという指摘もありえるため、男女共同参画計画との関係性を整理するとよいかもしれない。	

第3回検討会議にて議論すべきこと

番号	該当箇所		委員	意見等	対応
12	P26～28	戦略1「アンコンシャスバイアスの解消」	山川 委員	・ターゲットがかなり幅広くなっている事が、取り組みへの本気度を薄れさせないか？	・アンコンシャスバイアスの解消に向けて、ターゲットや具体的な取組・方法について 第3回会議で議論。 (P25に追記、P31を追加)
	P26～28	戦略1「アンコンシャスバイアスの解消」	山川 委員	・建前では優先順位を付けないが、本音では一番誰に訴えたいのか？例えば企業だと、性別役割分担意識が根強い層の意識改革に取り組むのか、比較的柔軟な層に注力するのかでは違ってくる。	
13	ー	全体	小安 委員	・全国の他県との比較優位や、先進的な事例との連動を意識した「三重モデル」の確立を目指す視点が求められる。	・中小企業の先進事例等、横展開する三重県の特徴及び社会の構造へのアプローチについて 第3回会議で議論。
			浅井 委員	・多様な働き方等について、企業による取組だけでなく、行政による社会の構造（1日8時間×週5日労働のフレームなど）の変革との両輪で進めていく必要があるのではないか。	
14	ー	全体	小安 委員	・数値目標とKPI ・推進体制、責任体制 ・財源・インセンティブ ・成果検証 ・三重らしさをいかにジェンダーギャップ解消と接続するか	・戦略の実効性を高めるための仕組みについて 第3回会議で議論。 (P31 を追加)